

# おかやまコープ くらしをつくる Vol.9

未曾有の災害となった東日本大震災。被災者を支援するため、おかやまコープをはじめ生協（全国各地の生活協同組合と日本生協連）は震災直後から一丸となって活動している。各自治体との協定に基づいた被災地への救援物資の提供や買い物が困難な地域での移動販売、組合員へのお見舞い活動など物心両面で被災者を支えている。さらに、おかやまコープは国際医療ボランティアAMDAに協力することで医療面でも貢献。今後も息の長い支援を計画。相互扶助の組織としての役割を發揮していく方針だ。

3月17日、宮城県へ向け出発するおかやまコープ職員



## おかやまコープの活動

全国各地の生協が協力し、震災直後から多くの支援物資が被災地に届けられ、その数は約102万7000点に上った。タンクローリーで燃料も被災地に送った。これまでに全国の生協から職員3000人以上、車両1100台以上が被災地に赴き、支援活動を行った。

生協はいくつもの地方自治体と災害発生時に優先的に物資を届ける協定を結んでいる。同時に、取り引きのあるメーカーとも協定を結んでいて、災害時には優先的に物資を供給してもらう仕組みをつくり、素早い救援物資支援

## 東日本大地震の被災者支援

## 多彩な活動

# 物資支援協定 いち早く現地へ届ける

に役立っている。

今回の支援活動では、生協は全国20カ所の物流センターを被災地への商品配達拠点として活用。きめ細かな配達を実現した。3月11日の地震発生から、わずか3時間後には宮城県の避難所に2000個のおにぎりを届けるな

ど、生協の支援活動の迅速さは高く評価されている。

このほか、組合員へのお見舞い活動や買物が困難になった地域での移動販売、炊き出しなどの支援活動のほか、生協店舗の早期正常化に努め、被災者の日常生活復旧にも尽力した。



岩手県の津波被害にあった沿岸部で行った移動販売は多くの人に喜ばれた。3月26、27日にはおかやまコープも支援に入った（売上金は全額寄付）

東日本大地震の被災地で子どもを診療するAMD Aスタッフ（写真提供AMD A）



や店舗支援、コープ共済の被災組合員への見舞金支払い活動の支援などを5月26日まで、計8回16人が行った。注目されるのは、国際医療ボランティアAMDAに協力するための各種物資支援と、岡山の組合員のメッセージを添えて花の種を届ける「がんばろうー東北 ハートフルメッセージ」。約1400通のメッセージがおかやまコープ職員やAMD A関係者の手で直接被災地に届けられ、特に喜ばれた。受け取った被災者の一人は「見舞金もありがたいが、心配し、応援してくれている人の『心』が伝わってくる。（ハートフルメッセージは）もっとうれし」と話していたという。

# 全国の生協 一丸で貢献

花の種に真心のこもったメッセージを添えた「がんばろう！東北 ハートフルメッセージ」



被災地支援に向かうAMDAにも託された「ハートフルメッセージ」。若手県大槌町夏本団地では、地元の方々の手でプランターに植えられ、芽が出たら病院や役所、道路脇に置かれる予定（写真提供AMDA）



現地に届けた。  
今回の具体的な支援内容は、AMDAからの要請を受け、3月14日に被災者向けの水やカップ麺、レトルト米飯など約400品を提供。さらに19日にはスタップ向けの食料1000食分を贈った。ほかにも初期費用として30万円を提供、AMDAの活動をサポートしている。

5月13日には、東日本大震災の被災地支援活動報告会が、岡山市のオルガ

# 医療支えるAMDAに協力

## 報告会で菅波代表「迅速な対応に感謝」

おかもまコープは2007年10月、国際医療ボランティアAMDAと支援協定を結び、AMDAが世界各地の被災地や紛争地域で行う緊急医療や復興の支援、開発途上国の自立支援などへの協力を続けている。

協定の締結後、毎年10月をAMDA募金月間として組合員から浄財を集め、「おかもまコープ国際協力支援基金（AMDA基金）」を設立。緊急支援時などには、この基金から支援金を拠出している。

AMDAへの支援を決めるきっかけとなったのは、組合員から「AMDAは岡山の誇り。ぜひ応援していきたい」という声が上がったこと。協定締結後、これまでに災害時などの緊急医療支援活動に対して25回支援金を拠出した。また、2010年にはAMDA社会開発機構が進めているサンビダの人々の自立支援プロジェクトに支援金を贈った。

深まった協力関係は、東日本大震災の被災者支援でも生かされている。おかもまコープはAMDAへ支援金と、



東日本大震災被災地での活動を報告するAMDA・菅波代表



おかもまコープから被災地のAMDAに贈られた救援物資（写真提供AMDA）

被災地への救援物資を贈り、AMDAホールで開かれた。講演したAMDAはおかもまコープからのメッセージを菅波代表は「おかもまコープには迅速かつしっかりと支援していただき感謝している。被災者に対し、支援する側が『ありがとう』と言えるような信頼関係をつくっていただきたい。おかもまコープは約束を守り、団体の平田昌三専務理事への感謝状贈呈や同コープ職員による活動報告なども行われた。

同報告会では、菅波代表からおかもまコープの平田昌三専務理事への感謝状贈呈や同コープ職員による活動報告なども行われた。

## 長期的な支援で絆



募金付商品の「復興支援バンド」。代金の一部が募金になる

### 商口四通じた募金や応援セール

全国の生協は現在も物心両面での支援を続けており、今後は、被災者の仮設住宅への引っ越しを手伝うボランティアなどを計画している。おかもまコープは、引き続き被災地へ赴き、地元生協の支援を行う予定。さらに、今

後も商品購入を通じた募金や応援セールなどを通じ、長期的に支援を続けていく。また、AMDAが8月、被災地の中学生約50人を招いて岡山市や総社市の中学生とサッカー交流するという計画にも協力を表明。参加した中学生らの食事や飲料を提供する。

また直接的な支援ではない